

平成24年2月定例議会が2月24日に開会され、市長と教育長が行政報告を行いました。このページからは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

はじめに

瀬戸内市の平成21年度の市内総生産（市内GDP）を計算すると1、164億円余りとなっており、名目経済成長率はマイナス7.5%で、平成19年度から3年連続のマイナス成長となっています。

多様な産業を根付かせ、特定の税収源だけに頼らない安定した産業構造を確立することが課題となっています。

主力の農業、水産業の活性化とそれ以外の産業による安定的な経済状況を確保するため、市の財政の健全性を維持しながら必要な投資を行い、低迷感の漂う市の経済をいかに活性化させるかが今後の市の持続可能な発展の鍵を握っていると考えられます。

です。この状況に歯止めをかけるためには、定住できる環境の整備やまちの魅力の向上に努める必要があります。

プロジェクトチームの状況

「生活交通システム検討プロジェクトチーム」では、牛窓地域内でのデマンドバスの運行を実施する運びとなっています。

7月からの運行に向け、リーフレットや乗車券、停留所マップ作成などの業務を進めています。

「新図書館整備検討プロジェクトチーム」では、平成24年3月末には「基本計画」の策定を完了する予定です。

また、中央公民館北側の邑久郷土資料館を解体し、その跡地を含めた用地に新図書館を建設することで、中央公民



解体を検討している邑久郷土資料館

館との一体的な整備を図り、生涯学習の拠点施設にしたいと考えています。

「ごみ30%減量作戦プロジェクトチーム」では、「ごみ30%減量」の目標達成は困難な状況となっており、新たな施策の展開が必要と考えています。

機構改革

平成24年4月からは、防

災・危機管理に対して高まっている市民ニーズに対応するため、総務部総務課内の課内室であった地域安全推進室を総務部地域安全推進室に格上げします。

総合政策部政策調整課と財政課の業務を統合し、経営企画課とします。市の財政の健全化を図るとともに、地域経済の発展についても一体的に検討していきます。

そして、産業建設部に新たに企業立地課を設置し、積極的に企業誘致を推進していきます。

また、水道事業の経営健全化の一環として、上水道工務課と上水道浄水課を統合して上水道施設課とします。

新瀬戸内市立図書館の整備開設に向けて、社会教育課内に新図書館開設準備室を設置します。

平成24年度当初予算（案）

平成24年度一般会計当初予算は、歳入では、市税は個人市民税が年少扶養控除の廃止により増と見込んでいる一方、法人市民税は、景気回復の遅れなどから減と見込んでいるため、市税全体で減となっています。

地方交付税については、国が前年度同額以上としたこと受け、増と見込んでいます。

市債では、臨時財政対策債は、減と見込んでいますが、クリーンセンターかもめ改造事業など大型事業の展開などに伴い、市債全体で増となっています。

一方、歳出では、投資的事業は増となっています。

主な投資的事業としては、クリーンセンターかもめの運転時間延長用施設改修事業や合併浄化槽設置整備事業、市道改良工事、調査・測量を行う市道南北線の延長事業、市営住宅建替事業、消防救急デジタル無線機整備事業の調査



約500畧の錦海塩田跡地

設計業務、平成23年度に着手した小中学校普通教室への天井扇設置事業、スポーツ公園整備事業などです。

この結果、一般会計予算は、145億7,467万円となり、平成23年度と比較すると3.6%（5億548万2千円）の増となる予算（案）です。

錦海塩田跡地活用の推進

産業廃棄物最終処分場の適正廃止に向け、平成23年度から、建設発生土処分場を開設し、公共工事により発生した残土を活用した覆土を行っています。2月14日現在、17,599㎡の土が搬入されています。

れています。

跡地の活用については、平成23年12月に開催した第3回錦海塩田跡地活用検討委員会において、跡地に係る課題を整理するとともに、跡地活用の基本構想の柱となる基本理念を決定しました。

企業団地の整備

長船町宮下地区の約3畧の土地と畜産業の誘致が決まった邑久町本庄の福谷地区の約1.3畧の土地について、農業振興地域の除外が認められ次第、用地買収を進めます。邑久町豆田地区の約5畧の土地については、造成に向けて測量・設計などを行います。

ジョブスポットせとうち開所

市と西大寺公共職業安定所は協定を結び、平成24年3月30日付けで本庁舎一階の保健福祉部邑久分室の隣室に、「ジョブスポットせとうち」を開所します。「求人情報提供端末」が導



相談支援の充実が期待されるスマイル

入される8月までは、プレ事業を実施し、求人票などの資料を提供するなどして就労支援を行います。

「スマイル」への指定管理者制度の導入

障害者自立支援法の一部改正により、平成24年4月から障害者一人一人に合った相談支援の一層の充実が求められるようになります。

地域生活支援センタースマイルについて、相談支援体制を強化するため指定管理者制度を導入し、その運営は相談支援事業などのノウハウを持つ社会福祉法人が行います。

用語の解説・備考

市内総生産 1年間に市内企業などの経済活動によって生産された財貨・サービスの総額（算出額）から原材料費など（中間投入額）を差し引いた付加価値額。

名目経済成長率 市内総生産の伸び率。物価変動分を調整せず、対象期間の時価で評価する。

邑久郷土資料館

教育、学術及び文化の発展に寄与することなどを目的として設置している施設。喜之助記念室・喜之助フェリス記念室・郷土資料室・民俗資料室・考古資料室・門田貝塚資料室があり、月曜日、祝・休日の翌日を除いて、午前9時から午後4時30分まで開館。入館無料。

産業廃棄物最終処分場

錦海塩田跡地とともに市が引き継いだ約80畧の産業廃棄物最終処分場（事業は平成20年に終了）。適正廃止には約50畧の覆土が必要。

基本理念を決定

検討委員会にて策定している基本構想について、「市民の安全安心」を前提とした上で、「地域の活性化」「環境の保全」「文化の振興」という3つの基本理念を柱とすることを決定。

ジョブスポットせとうち

市と西大寺公共職業安定所が共同で設置する福祉と就労支援の窓口。子育て中・子育て後の母親や生活保護受給者、障害者などの利用を想定している。

スマイル

障害者などの相談に応じ必要な助言などを行い、また、創作的・生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進することで地域生活支援の促進を図る施設。